

(別紙5)

整理番号 2017P-089
補助事業名 平成29年度 学術・文化の振興のための活動 補助事業
補助事業者名 公益社団法人 日本クラフトデザイン協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

1960年に第1回展が開催され、その後、ほぼ毎年開催されている。

現代社会に於いては上辺だけでない本当の意味をもったモノが求められている。人の心に語りかける作品、それらを身近に使って日々の暮らしに彩を添える。こうした日常が将来高い文化となって結実するものとする。また、クラフトデザインは日本の伝統工芸技術が基礎にあり、我が国の持つ優れた文化を現代にいかしながら、その技術と精神を継承している。その精緻な作品の数々は世界の中でも高い評価を得ており、今後更に日本のクラフトへの注目が高まることが期待できる。

クラフトデザインの向上を図り、生活文化の発展に寄与するとともに優秀なクラフトマンの発掘や、次世代の育成を目的に開催されている。日本人の総意工夫で築いた高度で独自のクラフト文化を礎に、豊かな生活環境作りに貢献する。

(2) 実施内容

第57回日本クラフト展 開催 (<http://www.craft.or.jp/home/craft57.html>)

名称： 第57回日本クラフト展 —クラフトNEXT—

会期： 平成30年1月7日(土)～14日(日) 11:00～19:00 (最終日17時)

会場： 東京ミッドタウン・デザインハブ (東京都港区赤坂9-7-1)

展示内容： 会員作品と一般公募入選作品・学生入選作品

応募者数： 会員153名、一般268名、学生53名 計474名

展示作品点数： 783点 (会員150名、一般109名、学生28名 計287名)

入場者数： 9346名

(別紙5)



第57回日本クラフト展看板



第57回日本クラフト展会場



会員テーマ展示「自転車のある暮らし」

(別紙5)

2 予想される事業実施効果

受賞及び入選作品は、全国のクラフト関係者にとっての指標の一つとなる。素材との関り方やそのデザイン性は地場産業や個人作家、またプロダクトデザインの分野にも影響を与えていくことが予想される。

日本クラフト展派生事業として実施した2017清州工芸ビエンナーレでは、グローバルパビリオンの日本ブースを当協会が担当した。平成27年度の参加に続いて3回目の招待となった。日本の質の高い精緻なクラフト作品は世界中から訪れる来場者に伝えることができた。本事業が起点となって海外や地方での展示会等継続的に展開することがクラフト文化、生活文化の向上に寄与するものと考えている。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

<http://www.craft.or.jp/home/jka/h29craftseika.pdf>

■応募要項 A3 4つ折



(別紙5)

■チラシA4



■B3ポスター



(別紙5)

■B1ポスター



■デジタルサイネージ



■情報誌CRAFT DESIGN



(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益社団法人 日本クラフトデザイン協会
(ニホンクラフトデザインキョウカイ)

住 所： 151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷4-5-15 ストークメイジュ408号室

代 表 者： 理事長 磯谷 晴弘 (イソガイ アキヒロ)

担 当 部 署： 事務局 (ジムキョク)

担 当 者 名： 事務局長 西川 雅典 (ニシカワ マサノリ)

電 話 番 号： 03-6455-5533

F A X： 03-6455-5534

E - m a i l： info@craft.or.jp

U R L： <http://www.craft.or.jp>